

指導教員名	長坂泰之
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	リノベーション事業者
	商業活性化型		商店街
	イベント企画型		

～ カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成 ～

活動の様子



ベトナム料理チームの出店前の試作の風景。試作をしながら商品や計画の修正を回りました。



ワッフルチームの出店当日の風景。高い目標に向けてのスタートライン



出店当日のクレープチーム。メイン商品のイチゴクレープ。商品作りは真剣そのもの。

企画・活動概要

ゼミ2年生が神戸市兵庫区平野に整備された空き店舗を改修したカフェ空間への飲食店出店体験を通じて、社会人基礎力を養成することを目的に実施しました。ゼミ生15名3チームが、2024年2月～3月に3日間に分かれて1日限りで飲食店を運営しました。事業計画(販売計画、仕入計画、販売促進計画、売上計画、利益計画)を作成し、計画を達成できるかを競いました。3チームの主なメニューは、クレープ、ベトナム料理(ハイミー、パンチョイ)、ワッフルでした。過去の先輩の出店経験も踏まえ、時給1000円、利益の10%を輪島朝市組合の復興支援の義援金とすることを目標に取り組みました。



ベトナム料理チームとワッフルチームのチラシ。当日は大人気の玉露餡の詰め放題も実施。利益の一部は輪島朝市組合への義援金となりました。

経緯・背景・目的

本プロジェクトは、2年生ゼミ生が同地区に整備された空き店舗を賃借したカフェ空間「KIKKAKE PLACE」への出店体験を通じて、①経営の困難さと、②社会人基礎力を養成するとともに、③平野地区にない新たな価値を見出すことで、④地域貢献を果たし、また、⑤賑わっているとは言えない「課題先進地」で社会共創活動を行うことで、社会と共創を実現することの難しさを理解するとともに、⑥併せて、利益の10%を能登半島地震で被災した輪島朝市組合の復旧・復興のための義援金とすることを目標に取り組みました。



決して人通りが多いとは言えない商店街での出店で、経営を学びつつ、少しでも商店街の賑わいに貢献できればと思いました。

取り組む課題

地域の課題としては、①過去は市電の終点として繁栄した地域ですが、現在は高齢化により空き店舗が目立つ、②商店街の衰退が厳しく、新しいお店がなかなか出店しない、③商店街への来街者も減少傾向という状況です。また、店主自体も高齢化していて、自らが主体的に活動できることが限られてきていました。

学生の課題は、①コロナ禍で、社会との活動が制約されていたなかで、社会、経営に関して触れ合い、挑戦する機会がなかった、②挑戦する機会がないので、社会人基礎力を養成する機会がなかった等の課題がありました。



平野商店街の一角の空き店舗をリノベーションしたスペースで出店。空き店舗が目立つ商店街で、新たなチャレンジをしました。

本学(学生)の役割

①地域の課題を知ることで、どのようにすれば地域の課題解決に貢献できるかを考え抜くことで地域活性化に貢献することができます。関連して、②活動を通じて、商店街に新たな価値を提供する一助となると考えました。また、③新たな価値の提供により、商店街の賑わいづくりに貢献できると考えました。



ベトナム料理チームのチラシ。平野地区にはベトナム料理店はなく、1日だけの出店でしたが、新たな価値を提供することができました。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

3チームのうち1チームが「時給1000円の人件費を得る」という目標を達成しました。

目標に向かって計画を作成する意義や重要性、それをブラッシュアップすることで失敗のリスクが軽減されること、また、事前の情報発信や当日の販売促進活動の重要性など、経営の難しさについてリアルに感じることができました。また、当たり前のことですが、頑張ったからと言って商品が売れるわけではなく、商品力や商品構成が重要であることも学びました。併せて、小売業は地域の社会の中で生かされている存在であり、存続のためにはお客様や商店街の方々とのコミュニケーションが重要であることも学びました。



クレープチームの「イチゴクレープ」。ゼミ生の実家で育てたイチゴ。圧倒的な商品力で差別化を図り、利益目標を達成しました。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
教授
長坂泰之(ナガサカ ヤスユキ)
<専門・担当科目等>
流通政策、中小企業経営、震災復興

「チャレンジ」の長坂泰之ゼミナールです。「商業まちづくり」、「店舗経営」に興味がある学生は大歓迎です！大きく変化する時代の真ん中にみなさんは生きています。そして、みなさんにはこれからたくさんの方々のビッグウェーブが訪れます。ゼミ活動で様々なチャレンジをして自分を磨いて、ビッグウェーブに乗れる人材になってください。

<関係者・企業等>

株式会社スクリーブ(カフェ空間「KIKKAKE PLACE」運営企業)
代表取締役
光山和弥(ミツヤマ カズヤ)

神戸・平野商店街を活性化させるKIKKAKE PLACEを運営されています。今回、学生のために、KIKKAKE PLACEを賃借していただきました。また、出店に向けて様々なアドバイスをいただきました。